

授業科目 総合ゼミ

【担当教員名】 押木 利英子 他	対象学年	4	対象学科	理学・作業・言語・義肢・健栄・スポ・社会・看護
	開講時期	後期	必修選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	◎	◎	◎	

【概要・一般目標：GI0】  
 本科目はQOLサポーターとしての専門職への円滑な導入を主たる目的として設定されている。  
 この目的を実現するために、異なる学科の学生が協働して、お互いの専門性、志向性を考慮しながら課題に取り組み、対象者の真のニーズを探ることを修得する。このゼミ活動を通して、学生は他職種の専門性、志向性を知り、連携の重要性を知ることを目標とする。さらに、対象者のQOL向上を支えるためには異なる専門職との密接な連携が必要であることを理解し、地域における社会資源や専門職及び専門機関（医療、保健、福祉）のネットワークの重要性と構築の必要性が理解できることを第2の目標とする。

- 【学習目標・行動目標：SBO】
1. 多学科の学生が協働して、共通の課題に取り組み、対象者の真のニーズを探ることの意義を理解する
  2. 対象者への評価を実施できる。
  3. 他職種の専門性、志向性に基づいた評価の特徴を指摘できる。
  4. 対象者の評価結果を他学科の学生に説明できる。
  5. 他学科の学生と検討して対象者の問題点とニーズを抽出できる。
  6. 検討結果に基づき、協働して対象者の支援策を企画できる。
  7. 支援策に対象者の意見を反映させることの重要性を指摘できる。
  8. 他学科の学生と検討した支援策を効果的に発表できる。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション ゼミの進行および各職種連携の意義の説明	1	演習、担当：押木 利英子 他
2	対象者の紹介、評価計画の立案、評価の実施	1, 2	〃、担当：押木 利英子 他
3	評価の実施	12	〃、担当：押木 利英子 他
4	評価結果の提示、他学科情報との検討会	2, 3, 4	〃、担当：押木 利英子 他
5	評価結果に基づく問題点の整理、検討	5	〃、担当：押木 利英子 他
6	対象者のニーズを中心にした支援策の立案	6, 7	〃、担当：押木 利英子 他
7	立案した支援策の効果的な発表の準備	7	〃、担当：押木 利英子 他
8	発表会	7, 8	〃、担当：押木 利英子 他

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	特に定めない			
参考書	必要に応じて指定する			
その他の資料	DVD ビデオ 事例のシナリオ 等			

【評価方法】 出席、評価への参加、討議への参加、発表内容を総合的に判断する	【履修上の留意点】 本学のQOLサポーター育成のために設定した最終年次の唯一の連携教育科目である。多くの学生に履修をしてほしい。 9月中旬に1週間集中授業で実施する。 履修届は原則として4月提出とする。(学外実習に参加している学生のための考慮あり)
--	---